

安倍川もち復興の3月17日、 駅では65年前の価格で販売し、 本社では従業員の皆様を表彰



(株)やまだいち 代表取締役社長

山田照敏さん

TEL054-287-2111

<http://abekawamochi.co.jp>

1950(昭和25)年3月17日、快晴、最高気温18.1℃で、穏やかな日和でした。「しずおか」、しずおかの駅名のアナウンス



安倍川もち



アスティ静岡「甘味喫茶 きなこ」



「登呂もちの家・白」

戦争から帰った創業者の山田一郎は、鷹匠町に喫茶店を開き、やがて戦争で製造中止になっていた伝統ある静岡名物「安倍川もち」の復興を願うようになり、1949年、当時の静岡市長を会長に復活母体を設立し、官民挙げて食糧庁との交渉にあたりました。「営業用に食糧を配給すれば統制経済が崩れる」と言われましたが、交渉の末、公共性の高い国鉄駅での販売を条件に菓子用原料の特別配給を受けることに成功。

にのせて「静岡名物安倍川もち」と駅売りさんの声がホームに響き渡りました。その風景はNHKラジオで生放送。静岡の復興を全国にアピールしました。当時の価格は50円。

当社では、安倍川もちが復興した3月17日を創業記念日として、午前10時から、J-R静岡駅のKioskベルマート(中央と南口)、パルシェ食彩館「やまだいち」、アスティ静岡「甘味喫茶 きなこ」の4ヶ所で、昭和25年発売当時の包装と価格で「安倍川もち」400箱を販売。

また、登呂遺跡に隣接する本社工場では、静岡商工会議所の優良従業員表彰制度を活用して長く勤めてくれた社員を表彰するとともに、自社としての社員の表彰を行っています。

家康公は、安倍川源流にある金山に向いた際、土地の者が献上した金粉餅の美味しさを誉め、褒美を与え、「安倍川もち」と命名しました。家康公四百年祭を迎え、駿府大御所時代の家康公像をパッケージにした「安倍川もち」を発売。「きなこ」「登呂もちの家」では、搗きたての餅を湯煎にして、黄な粉をまぶして提供しています。ぜひ、ご賞味ください。

商工会議所担当者から一言



原久見子

総務企画課

TEL054-253-5111

勤労意欲の向上にむけて 会員企業の従業員を表彰。

静岡商工会議所は、毎年11月下旬に「表彰式」を開催し、会員事業所の従業員の勤労意欲の向上にむけて、事業主の推薦にもとづき、静岡商工会議所会頭名による優良従業員の表彰を実施しています。

表彰対象者は、勤続5年以上で勤務成績の優秀な方で、5年毎に表彰します。勤続30年以上の方は、日本商工会議所会頭と静岡商工会議所会頭の連名表彰になります。会社役員は表彰の対象になりません。

毎年9月末まで申込を受付けます。事業主には、表彰状・記念品代として負担金をいただきます。勤続5年・10年が3240円。勤続年数が長くなると金額が増えます。2014年は、263名を表彰しました。ぜひ、ご活用ください。